

# 輝け 未来へ 中番校

No one will be left behind



## 3Cの取組「第1回安全な登下校PROJECT」2日目

— Change (変革), Challenge (挑戦), Continue (継続) —

昨日は、抜けるような青空が広がり、朝から厳しい陽射しが照りつけていました。月曜日の下校より、「第1回安全な登下校PROJECT」が始まりました。自分達の登下校を見直し、「安全な登下校」について一人一人が意識し、自信をもって行動できるようになることを目指します。期間は一週間、この一週間が長いのか、短いのか、子ども達にとって、どのくらいの長さと感じるのでしょうか。「何を頑張るのか」、「自分に何ができるのか」、「みんなの為に、自分は何をなすべきか」を、自分の事として考えることができる児童になって欲しいと願っています。

昨日、一覧表を展示ホール前に掲示しました。何人かの登校班長に、「ここに記録してください。」と伝えました。みんなが下校した後、この一覧表を見て本当に驚きました。どの町もしっかりと記入してくれました。全員に伝えたわけでもないのに、なんと素晴らしいことでしょう。どんな気持ちで書いたのか、「みんなが書いているから、書かなきゃ。」「めんどくさい!」「よし、書こう!」「書かないと注意される。何か言われる。」様々な気持ちが、それぞれの登校班長にあったことは容易に想像できます。でも、いろいろあるけれど、結果として、その「行動を起こした」ということは、値打ちのあることで、とても立派な行動です。登校班長の頑張りに心からエールを贈りたいと思いました。

振り返りをし、付けた点数は、各登校班いろいろです。高い得点のところもあり、低い得点のところもあります。でも、その結果から、明日

の自分を変えることができる人になって欲しいと思います。以前にも記載しましたが、みんなが「できて当たり前」と思っていることほど、実は、本当に難しいことなのです。しかも、全員がそれをやりきることを目標にしているのです。その難しさは、計り知れません。「できなくても仕方ない」「できなくて当たり前」という自分になるか、いや、自分は、「みんなでやることの大切さ、素晴らしさ」に賛同し、それに挑戦していくか、このどちらかに自分の楽しみを見出すことができるかにかかっているのだと思います。そうです。自分がいくら頑張っても、自分が望む結果にはならないかもしれません。そのことを恐れて何もしないのか、結果が出れば出たで、「やっても意味がなかった。」「やっただけ無駄だった。」と言いつつのか、結果が出た、その時、その瞬間の子ども達の姿が楽しみです。

保護者の皆様には、この1週間、このPROJECTへの子ども達への声かけ、応援をよろしくお願い申し上げます。中番小学校は、子ども達、保護者の皆様、地域の皆様と、共に歩んでいきます。

### <学校の風景>

